

## 企画展関連シンポジウム

# 『どうする!? 兵庫の外来生物』

- 1 日時：2006年9月2日（土）午後1時半から5時
- 2 場所：県立人と自然の博物館 ホロンピアホール

近年さまざまな外来生物が野外で見つかったり、被害がでたりなどを耳にする機会が増えています。しかしながら、科学的データに裏付けられた現状や対策方法を知る機会があまりありません。

今回のシンポジウムでは、近年施行された「外来生物法」からさまざまな生物分野の専門家から話題提供をいただき、わたしたちはこれからどうすべきか考えていきたいと企画しました。

兵庫県での話題を中心にしていますが、他府県にとっても有用な情報を含んでいますので、多くの方々の参加をお待ちしています、

### 3 講演者と演題（講演順、各人約30分）

「外来生物法について」

三村起一（環境省 外来生物対策室長）

「外国産クワガタムシ、カブトムシなどの現状と問題点」

荒谷邦雄（九州大 助教授）

「オオクチバスとため池の動物」

田中哲夫（人と自然の博物館 主任研究員）

「アライグマ対策の現状と課題」

坂田宏志（人と自然の博物館 主任研究員）

「外来樹木の現状と課題」

橋本佳延（人と自然の博物館 研究員）

「外来生物と人の生活」

岩槻邦男（人と自然の博物館 館長）

定員：200名（先着順）、観覧料（大人200円、大高生150円、小中学生100円）のみ必要

要申込：①氏名②年齢③住所④電話・FAX番号⑤mailアドレスを記入して、はがき、

ファックスまたはメールで人と自然の博物館まで

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘6

FAX. 079-559-2033, e-mail: [seminar@hitohaku.jp](mailto:seminar@hitohaku.jp)